

みなみいず 町議会だより

No. 38号

2009年

平成21.8.1

賀茂支部消防操法大会

平成21年6月14日(日)
於 東伊豆町



小型ポンプ操法の部出場選手(第3位)



ポンプ車操法の部出場選手

- 6月定例会……………2
- 一般質問……………3~5
- 議会の動き、一口メモ、くろ潮…6

平成21年 6月定例会

平成21年6月定例会は、6月9日から11日までの3日間開催されました。一般会計補正予算(第2号)、国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定、意見書など12議案が上程されました。副町長選任議案については、直前に副町長から辞職申し出があり、議案が撤回されました。一般質問には3人が登壇しました。

補正予算の概要(単位:千円)

会計区分	補正額	補正後総額
一般会計補正予算(第2号)	91,412	4,065,251
公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	4,000	405,018
水道事業会計補正予算(第1号)	△314	282,160

条例制定・改正

- ▼個人情報保護条例の一部改正
- ▼国民健康保険条例の一部改正

認定・同意

- ▼工事請負契約について
- ▼町立南中小学校屋内運動場耐震改修工事
- ▼指定金融機関の指定
- 6月1日より三島信用金庫にするもの

第一常任委員会審議

町長の追加説明

制度改正による被保険者の税負担増を極力抑えるため、一般会計予算から3,500万円を繰り入れた試算を提出した。

質疑

南伊豆町国民健康保険の被保険者のモデルケース・構成は。

答弁

一般被保険者の均等割・平等割では、6割軽減が674世帯、4割軽減が140世帯の計814世帯でその40%を占め低所得者世帯が多い。一般会計予算からの繰り入れの経緯は。

答弁

法定外繰り入れについては平成18年度、平成19年度は無く、平成20年度に379万6千円の繰り入れがあった。

意見書・発議

▼新たな過疎対策法の制定に関する意見書

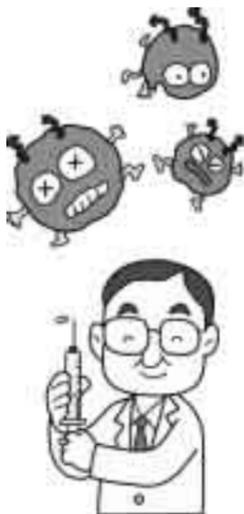
▼国民健康保険制度の抜本的見直しを求める意見書

国に対して国庫負担割合の引き上げと、国の責任で高すぎる国保の引き下げを求めるもの

▼細菌性髄膜炎の早期定期予防接種化を求める意見書

▼肺炎球菌ワクチン接種に係わる公的助成制度の創設を求める意見

予防医療の観点から、約5年程度効果が継続する肺炎球菌ワクチン接種に対して助成制度創設を町長に求めるもの



町長に聞かされた

●一般質問



竹河十九巳議員

市町村合併について

竹河 第29次地方制度調査会に全国町村会長は意見書を提出している。全国町村会長のもとには、平成の合併で消えてしまった町村の元首長から「もとに戻れるような法案作成を」という声が届いていると述べている。町長はどのようにとらえているか。

町長 当町にとりましても大変参考となる意見、あるいは事案が掲載されている

のも事実である。

竹河 合併により職員100名を削減したとき、削減した雇用を創出しなければ地域力が落ちる。削減した人員に相当する雇用を創出して行くのか。

町長 職員を削減した分の雇用の創出、これはなかなか難しい問題ではないか。

竹河 現行の広域行政、広域連携、一部事務組合を考えるなら、下田市・賀茂郡1市5町が体制を整えて合

教育格差について

併するのが道だと思うが。町長 新市移行後、検討を進めていくのも方法かなと考えている。

竹河 子どもの発達段階に応じた理想の学級経営、学校経営を考えた教員の配置や学級定員をどのように考えているのか。

教育長 学級経営、1学級の人数は30人程度が理想だと思っっている。

竹河 学力向上には家庭・地域の安定性が必要であるが、学力向上に向けた地域の安定性を維持し、家庭の安定性の向上に向けた方策は。

教育長 行政サイドから生活基盤がしっかりして文化土的壌の高い地域や家庭からは学力の高い子供が育ちやすい。そうした地域や家庭を生むために日々努力をしている。

竹河 高校は義務教育化しているのに、定期券の補助などを高校生にも拡大したほうが良いのではないか。

教育長 定額給付金と同様にお金のある人まで町の貴重な財源をつぎ込むべきであるかどうかと思います。

竹河 2001年からの「心のノート」導入で子供たちに何か変化がありましたか。

教育長 教員になりたての若い先生にはたぶん役立つのではないかと感じております。

介護保険について

竹河 介護認定基準の変更は、利用者にとって何が改善されたのか。

町長 認定におけるばらつきは減少、それから最新ケアを踏まえた介護の間をより反映した認定になることが見込まれ、公平な認定審査が行われることと考えております。

竹河 介護報酬改定は利用者の負担が増えると共に、介護の質の低下を招くのではないか。

町長 介護従事者の処遇改善に資することによって、利用者が質の高いサービスを安心して安定的に利用できる。

竹河 介護認定等に不服があったときは「審査請求」や「行政訴訟の処分」の取り消しの訴え「このような事例が起こったとき、介護を必要とする人に対してどのような支援、対応をしていくのか。

健康福祉課長 介護保険審査会に審査請求された事例は本町では今のところございません。



清水清一議員

産業振興の取り組み

清水 南伊豆町内の産業育成のための取り組み、推進等はどうしているのか。

町長 平成21年度は町単独で、利子補給の上乗せの継続、町内の宿泊者プラチナ利用券を発行をした。補正予算で、第2弾のプレミアム商品券の事業、緊急雇用創出事業、緊急経済対策インバウンド事業を計上した。

農業振興施策は湯の花観光交流館内の農林水産物直売所湯の花が、南伊豆町の魅力アップ、幅広い経済効果など産業全体に多大な貢献をしている。

清水 町内の企業が事業拡大や新事業で、新たな資本を投下して雇用を生むような事業者に、何か支援の取り組み等は。

町長 国県の動向等をよく見極めながら考えていく。

清水 町内の観光施設をどのように有効利用し、整備していくのか。



横嶋隆二議員

町民生活とまちづくり

横嶋 国・県が強行する合併で良くも町が残ってきたものだ。2期目、町民生活を守る施策をどう考えているか。

町長 1市3町の合併、医療環境・教育、施設整備充実・耐震化、町の活性化、産業振興、不況対策を進めながら足腰の強い、地に着いた施策の展開を図り、まちづくりを進めていく。



横嶋 一般的だ。実行する上で、もっと町民の中に足を運び、置かれている実情・なまの思いをつかむ。出張を減らし町民の声を直接聞いて一緒に考えて具体化することに一層力を入れるべき。

町長 これまでも機会あるごとに町民の声を聞いてきたが、今まで以上に町民と触れ合う機会を持ち、実態を把握する。



一次救急医療について

清水 1次救急は町で考える仕事だ。町の考えは。

町長 病院の移転問題と絡めて、これが移転したことによって町民の医療が、不都合をきたすことのないように取り組んでいきたい。

清水 町民は近いほうがいい。現在地の話は一つも選択の余地として候補の話には載っていない。

町長 跡地利用委員会を設置し、検討をしたい。この跡地利用も新病院の問題とあわせて検討していきたい。

清水 町長は共立湊病院組合の管理者であるが、ある程度結果が出たとき、管理者でなくなる可能性がある。現在の共立湊病院の用地は共立湊病院組合の管理であり、利用委員会というものの町長の発言力が弱まるのではないか。



電子自治体の推進

清水 通信基盤整備で、光ファイバーについての国の補正予算が443億円ある。町内で整備すると約10億で、93%の国の補助がある。7,000万円ですべて町内全域光ファイバーが整備できる。

町長 今回の光ファイバーの国の特別な補助は、後はないだろうと言われており、私としてもこれを前向きに取り組んでいきたい。



公益法人の契約について

横嶋 地域医療振興協会は受託施設で上げた収益はその施設の運用に充てるとしている。共立湊病院組合は平成23年からの指定管理者公募を始め19日締め切りだが、地域医療振興協会が応募するかどうか全く別な問題として、公益法人の収益の問題に関して構成自治体として契約の履行を強く求めるべき。質問をするに当たって事務局に病院の決算書、実績報告を求めたが、6月8日時点でまだに出していないという。決算書を2カ月以内に出すという協定が、履行されていない。これが公益法人足りえるのか。

町長 言っていることは理解、そういうことであると思う。これはやはり構成する市町のいわゆる組合の中でそれは考えていく。



横嶋 コンサルタントに任せず一切自前で作るべき。

横嶋 不況対策はどの程度のスパンで考えているのか。地域内投資力を育てて成功している湯布院等を参考に、恒常的に経済が循環する方向、町内にできた湯の花農林水産物直売所の地域循環経済の仕組みを認識し町民に強く喚起すべき。湯の花直売所は、南伊豆町内の消費循環の仕組み・町民共有の場所だ。この発展方向は、すべての町民が享受できる可能性と大きさを持っている。町民に生産を喚起し、衣食住などの結びつきの拠点にできる。都市との交流で継続的な観光・経済を据えることも活路のひとつ。

町長 湯の花直売所については同じ認識を持っている。町内の活性化の面で今後さらに活用していきたい。

横嶋 東京墨田区では、初代区長が職員に、あなたがたの給料は一体どこから生まれてくるのか知っていますかと問いかけ、管理職以上の人を全員街に調査に出し、区内にはどんな事業所があつてどんな製品を生産

議会の動き

南伊豆町議会の動き：平成21年5月～7月

- 5月14～15日 例月出納検査
- 15日 議会全員協議会
- 15日 平成21年度交通安全協会南伊豆分会総会
- 16日 黒船祭
- 19日 図書館協議会
- 19～20日 第34回町村議会議長・副議長研修会
- 20日 平成21年度南伊豆町商工会通常総会
- 22日 富士山静岡空港開港記念内覧会
- 25日 静岡県町村議会議長会総会
- 26日 平成21年度下田警察署管内防犯協会総会
- 27日 南伊豆町社会福祉協議会理事会・評議員会
- 27日 賀茂郡町議会議長会
- 27日 国民健康保険運営協議会
- 28日 平成21年度南伊豆町観光協会、
下賀茂温泉旅館協同組合通常総会
- 29日 第3回臨時議会
- 31日 富士山静岡空港開港記念祝賀会
- 6月 1日 静岡県地方議会連絡協議会定期総会・政策研修会
- 2日 議会運営委員会
- 8日 静岡県都市計画審議会
- 9日 6月定例会
- 10日 第1常任委員会
- 11日 6月定例会
- 11日 第1回広報編集委員会
- 14日 静岡県消防協会賀茂支部消防操法大会
- 16日 静岡県市町村振興協会第2回理事会
- 19日 第4回臨時会
- 24日 静霊奉賛会理事会
- 24日 賀茂郡監査委員連絡会総会
- 25～26日 例月出納検査
- 7月 2日 静岡県監査委員研修会
- 6日 第2回広報編集委員会
- 7日 後期高齢者医療広域連合組合議会レクチャー
- 9～10日 例月出納検査
- 10日 北方領土返還要求静岡県民会議
- 16～21日 平成20年度一般会計・特別会計決算審査
- 17～18日 中日本府県町村議会議長会会長会議
- 18日 弓ヶ浜海水浴場海開き
- 19日 黒潮和太鼓まつり
- 7月22～23日 全国町村議会議長会臨時総会他
- 27日 東駿河湾環状道路開通式典・賀茂郡議長会議
- 29日 第5回臨時会・地域医療問題調査特別委員会
- 30日 東京大学下賀茂寮夏期特別開寮

皆さまの声を お待ちしております

皆さまから届けられました貴重な意見、提案等は、「いでゆ」のコーナーに掲載させていただきます。

南伊豆町議会事務局内 広報編集委員会

〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂328-2
TEL・FAX 62-6240

静岡県町村議会議長会の会長就任



平成21年5月25日開催の議長総会において、当町議会議長渡辺嘉郎氏が会長に就任しました。

議会一〇メモ

過半数議決の原則

過半数議決の原則とは、会議で議題となった案件の可否を決めるときは、「半数より多い数で決める」とことをいい、半数を超える賛成があれば、全会一致でなくても、それを全体の意志とみなす原則である。この原則は、民主政治の基本をなす「多数決の原理」に基づいている。

なお、多数決の原理には、絶対多数・比較多数及び特別多数の3種類があるが、絶対多数は過半数議決であり、会議における一般的な意志決定の方法である。(議員必携より)



戦後60余年、もはや戦後ではないと言われてから50年余が経過した。世界第2位の経済規模の大国となった日本の何気ない行動が、時と場合によってはとんでもない悲劇・問題を周囲に及ぼす。相手の事情や立場をおもんぱり、責任を負い、果たすべきである。

過去には、世界の対立軸が東西冷戦、南北戦争などで表現されてきた。現在では、それらに民族・文明・宗教・貧困など、より複雑に絡み合っ解決が難しくなっている。

米国に端を発した経済危機により、輸出中心から再び内需拡大や環境関連政策の必要性が叫ばれ、価値観・軌跡が問われ、日本型ビジネスモデルからの方向転換の必要も叫ばれる。閉塞感で日本中が覆われている。

興味ある記事が眼に留まった。江戸(時代)に等々の記事である。江戸は当時、徳川幕府の鎖国政策の中、長崎出島のみ開放にもかかわらず、人口百万人、元禄・寛政・化政文化などが発達し、世界の中でも特異な成功を治めていたことである。環境問題など、今の日本が置かれている様々なことを原点回帰で、江戸(時代)に置き換えると解決策がみえてくる。江戸(時代)のライフスタイルも考である。(色)